

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等実用化研究事業）
分担研究報告書

慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発

研究課題：薬剤性腎障害の診療ガイドラインの作成
診療ガイドライン作成分科会

研究分担者

山縣邦弘 筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学 教授

研究協力者

臼井丈一 筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学 准教授

共同研究者

筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学：臼井俊明、篠崎有希、森山憲明、永井恵、樋渡昭、甲斐平康、萩原正大、森戸直記、斎藤知栄、楊景堯

研究要旨

厚生労働省「慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発に関する研究班」診療ガイドライン作成分科会では、薬剤性腎障害および腎機能障害時の薬剤投与方法に関する診療指針の作成を立案・計画している。本年度は、ガイドラインのロードマップに則り、各作成メンバー、システマティックレビューメンバーは Minds の関連するガイドライン作成のための講習に参加をしながら、全体構成、CQ を決定し、各分担項目の執筆、システマティックレビューを行っている。来年度の発刊を目標とし、作業を継続する予定である。

A．研究目的

本分科会では、薬剤性腎障害および腎機能障害時の薬剤投与方法に関する診療指針の作成を立案・計画している。本年度は、ガイドラインのロードマップに則り、ガイドラインの作成を行っている。

B．研究方法

各作成メンバー、システマティックレビューメンバーは Minds の関連するガイドライン作成のための講習に参加をしながら、全体構成、CQ を決定し（スコープ：付表参照）各分担項目の執筆、システマティックレビューを行う。

（倫理面への配慮）

特になし。

C．研究結果

統括委員会・ガイドライン作成分科会の立ち上げ、本ガイドラインは、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等実用化研究事業「慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早

期診断法と治療法の開発」(平成 25～27 年度)の一環として作成している。研究代表者 1 名、分担研究者 1 名、研究協力者 1 名で統括委員会を結成し、研究代表者 1 名、分担研究者 5 名、研究協力者 2 名をガイドライン作成メンバー（腎臓専門医 7 名、薬剤師 1 名）とし、班会議毎にガイドラインの目的、対象、構成、CQ 案を検討した。各 CQ のエビデンスレビューに関しては、システマティックレビューメンバー（日本腎臓学会サポーターを中心に 10 名）を決定、エビデンスの収集依頼し、エビデンスの吟味、システマティックレビューを行っている。CQ 以外の解説に関しては、各担当者が執筆を進めている。ガイドライン作成メンバー、システマティックレビューメンバーともに、Minds 関係者による診療ガイドライン作成のための講演会を受講した上で、作業を行っている。

作成メンバー会議

平成 25 年 8 月 31 日 平成 25 年度第一回班会議（東京）作成メンバー決定，目的・構成

検討

平成 25 年 11 月 17 日 平成 25 年度第二回
班会議 (東京) 目的・構成検討

平成 26 年 1 月 26 日 平成 25 年度第三回班
会議 (東京) 目的・構成検討

平成 26 年 6 月 13 日 平成 26 年度第一回班
会議 (神戸) 目的・構成検討

平成 26 年 10 月 4 日 平成 26 年度第二回班
会議 (神戸) 目的, 対象, 構成決定, CQ 案
検討

平成 26 年 10 月 23 日 メール会議 スコー
プの作成

平成 26 年 10 月 25 日 第 44 回日本腎臓学
会東部学術大会(東京)ワークショップ 1「薬
剤性腎障害」 スコープの公表, ガイドラ
イン作成に関して公開討論

平成 26 年 11 月 25 日 ~ 同年 12 月 17 日 メ
ール会議 CQ の確定

平成 26 年 12 月 17 日 ~ 同年 12 月 22 日 メ
ール会議 各エビデンス(論文)の評価方法
とそれに基づくステートメントの推奨グ
レードの付け方の決定

平成 27 年 2 月 1 日 平成 26 年度成果発表
会議 (東京) 進捗状況の確認

システマティックレビュー会議

平成 26 年 10 月 8 日 日本腎臓学会サポ
ーター制度他によりシステマティックレビ
ューメンバーの募集を開始

平成 26 年 11 月 30 日 システマティックレ
ビューメンバー募集の締め切り

平成 26 年 12 月 22 日 日本医学図書館協会
に文献検索を打診

平成 26 年 12 月 28 日 システマティックレ
ビューメンバー決定

平成 27 年 1 月 5 日 日本医学図書館協会に
文献検索依頼 (覚書)

平成 27 年 1 月 9 日 システマティックレビ
ューメンバーに CQ 案提示

平成 27 年 1 月 13 日 日本医学図書館協会
に文献検索結果を納品

平成 27 年 2 月 1 日 システマティックレビ
ューキックオフ会議 (東京) 担当 CQ 決定

日本腎臓学会主催の診療ガイドライン作成の ための講演会

平成 26 年 8 月 9 日「ガイドライン作成方法」
聖路加国際病院福井次矢先生 (東京)

平成 26 年 10 月 4 日「ガイドライン作成法・
評価法について」京都大学中山健夫先生 (神
戸)

平成 26 年 10 月 24 日「ガイドライン作成
法・評価法について」京都大学中山健夫先生
(東京)

平成 27 年 1 月 17 日「ガイドライン改訂の
ための QI 調査に関する勉強会」九州大学中
島直樹先生 (東京)

D . 考察

現在、薬剤性腎障害の診療ガイドラインの作
成を行っている。ほぼロードマップ通りに進捗
している。今後は、各 CQ の推奨決定、査読委
員の決定および査読の実施、関連学会への確認
を経て、来年度の発刊を目指している。

E . 結論

作成中の薬剤性腎障害の診療ガイドライン
の進捗状況を報告した。

G . 研究発表

1 . 論文発表

英文論文

1. Koganemaru H, Hitomi S, Kai H, Yamagata K. A case of secondary syphilis demonstrating nephrotic syndrome and a solitary intrahepatic mass in a human immunodeficiency virus-1-infected patient. *J Infect Chemother*. 2015 Jan; 21(1):62-4.
2. Hoshino J, Yamagata K, Nishi S, Nakai S, Masakane I, Iseki K, Tsubakihara Y. Carpal tunnel surgery as proxy for dialysis-related amyloidosis: results from the Japanese society for dialysis therapy. *Am J Nephrol*. 2014; 39(5):449-58.
3. Morito N, Yoh K, Ojima M, Okamura M, Nakamura M, Hamada M, Shimohata H, Moriguchi T, Yamagata K, Takahashi S. Overexpression of Mafb in Podocytes Protects against Diabetic Nephropathy. *J Am Soc Nephrol*. 2014, Nov; 25(11): 2546-57.
4. Nagai K, Ueda A, Yamagata K. Successful Use of Tocilizumab in a Case of Multicentric Castleman's Disease and End-Stage Renal Disease. *Ther Apher Dial*. 2014 Apr; 18(2): 210-1.
5. Usui J, Glezerman IG, Salvatore SP, Chandran CB, Flombaum CD, Seshan SV: Clinicopathological spectrum of kidney diseases in cancer patients treated with vascular endothelial growth factor inhibitors: a report of 5 cases and review of literature. *Hum Pathol* 2014; 45(9): 1918-1927.

和文論文
なし

2. 学会発表

1. 岩瀬茉未子、齋藤知栄、萩原正大、臼井俊明、森山憲明、加瀬田幸司、樋渡昭、甲斐平康、臼井丈一、森戸直記、楊景堯、齋藤知栄、植田敦志、山縣邦弘：メトトレキサート(MTX)による急性腎障害に対して血液浄化療法が奏功した2症例。第59回日本透析医学会学会学術集会・総会。神戸。2014年6月13日
2. 臼井丈一、山縣邦弘：抗癌化学療法、VEGF阻害薬関連腎障害の臨床病理学的検討、第57回日本腎臓学会学術総会、横浜、2014年7月5日
3. 臼井俊明、萩原正大、森山憲明、永井恵、樋渡昭、甲斐平康、森戸直記、臼井丈一、齋藤知栄、楊景堯、山縣邦弘：メソトレキサート中毒に対する血液浄化療法の有効性、第35回日本アフエレンス学会学術大会、東京、2014年9月27日
4. 臼井丈一：腎炎と免疫抑制剤、妊娠と薬情報センター開設9周年記念フォーラム、東京2014年10月5日
5. 臼井丈一、山縣邦弘：ワークショップ1 薬剤性腎障害の診療ガイドライン、第44回日本腎臓学会東部学術大会、東京、2014年10月25日

6. 椎名映里、国府田恵、郡司真誠、大久保裕希、佐藤ちひろ、海老原至、千葉義郎、臼井丈一、山縣邦弘、小林正貴：ACE-Iで急性腎不全を呈し血行学的・病理学的評価を行った高血圧の症例、第44回日本腎臓学会東部学術大会、東京、2014年10月24日
7. 臼井俊明、臼井丈一、森山憲明、永井恵、樋渡昭、萩原正大、甲斐平康、森戸直記、齋藤知栄、楊景堯、山縣邦弘、小島崇宏、河合弘二、西山博之、及川剛宏：チロシンキナーゼ阻害薬関連腎障害発症に関わらず長期薬剤投与・生存可能であった転移性腎細胞癌の2症例、第44回日本腎臓学会東部学術大会、東京、2014年10月24日

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし